

フードロス&店舗オペレーションを同時に改革するDXの実現「sinops-CLOUD」

株式会社シノプス（大阪府）

【概要】

- 「sinops(シノプス)」は、食品小売業向けの AI を活用した需要予測・自動発注サービス。sinops 自体は約 20 年前から提供されているが、2020 年よりクラウドサービス「sinops-CLOUD」を開始。パッケージ製品から SaaS 型ビジネスへの転換を行う
- 主な顧客は、食品スーパー。sinops シリーズ全体では、全国約 103 社、5,924 店舗での利用実績を持つ(2022 年 12 月現在)
- 食品ロスが出やすい惣菜・日配食品分野を中心に、利用が進む

【特徴】

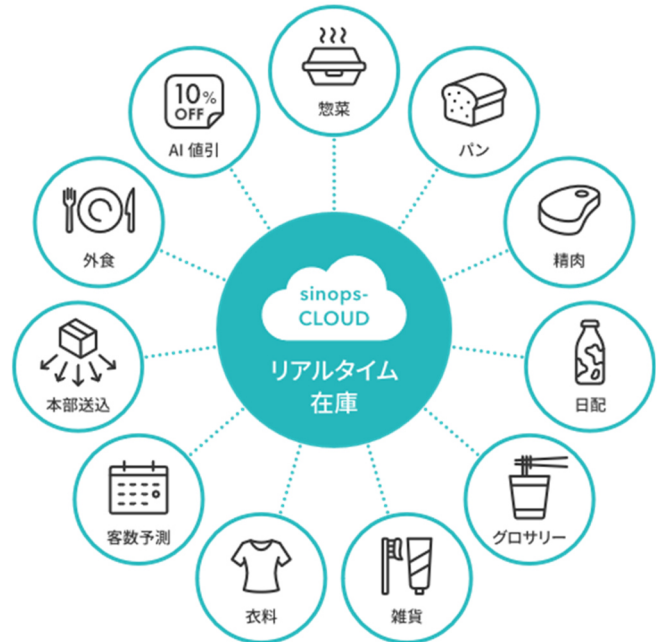
- 販売実績、販売価格、天気予報などのデータをもとに需要を予測。欠品とロスと同時に軽減させるとともに、店舗オペレーションの改善にもつながる
- 導入にあたって下記のプロセスを経て納得を得たうえで展開する
 - 顧客店舗の実データを利用した事前分析
 - サービス導入後の費用対効果のレポート
 - 1~3 店舗で実証実験を行う
 - レポートでシミュレーションし、費用対効果がでるか確認
 - 顧客との合意のうえ、各店舗にサービスを展開
- クラウドサービスを開始したことで、顧客はまず「惣菜」といった一つのカテゴリのみ導入し、そのあと「日配食品」など他サービスへの展開が可能となった
- 既存顧客との信頼関係をもとに、「データ起点での企画・開発によるシステム化→現場での実証実験→費用対効果の検証」からなる業務改善の仕組みを構築している
- 需要側(消費者等)から得られる情報を基点として小売業・卸売業・製造業の流通三層に一气通貫で連携するデマンドチェーンマネジメント(DCM)の構築を目指す

【サービスイノベーションの観点から】

食品ロスが出やすい惣菜・日配食品を中心とする内容を絞り込んだ訴求で、実証実験を踏まえて、顧客との合意形成を得た上で進めていく仕組みを構築。持続的に価値共創を進める仕組みを適切に創り込んでサービスイノベーションを実現している

【組織データ】

| | |
|-------|----------------------|
| 所在地 | 大阪府大阪市北区 |
| 従業員数 | 94 名 (2022 年 12 月現在) |
| 創業 | 1987 年 |
| キーワード | 情報サービス、フードロス、食品スーパー |
| 売上規模 | 10~100 億円 |



▲サービスが管理する在庫の範囲

| | |
|-------------|------------|
| 曜日波動自動計算 | 週間発注 |
| 発注数自動按分 | 追加製造アラート |
| インスタ加工惣菜対応 | プロセスセンター連携 |
| 他クラウドサービス連携 | |

▲サービスが提供する主な機能(総菜部門の場合)

| | | |
|--|--|--|
| <p>ロスをなくしたい</p> <p>時間帯別の客数実績をもとにした発注を行うため商品の製造過多による「廃棄・値引ロス」やピークタイムでの「欠品・機会ロス」を緩和します。</p> | <p>売上をあげたい</p> <p>AIを活用し、店舗ごとに商品の販売余力を自動解析。売上・粗利UPに貢献します。</p> | <p>人手不足を解消したい</p> <p>sinops-CLOUDにより、担当者の発注スキルに依存せず発注時間が短縮されるため、発注に充てていた時間を顧客対応などの他の業務に使うことができます。</p> |
|--|--|--|

▲小売流通の課題解決への活用が期待される